

城陽市障がい者自立支援協議会

第20回 療育部会報告書

報告者 部会長 障害児(者)地域療育支援センターういる 大蔵寛子

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成28年 5月 26日 (木)
場 所	福祉センター 3階研修室
出席者	城陽市福祉課 相談支援事業所(障害児(者)地域療育支援センターういる) サービス提供事業所(知的障害者デイサービスセンターあっぷ、城陽市社会福祉協議会訪問介護センター、指定居宅介護事業所チャレンジ、ヘルパーステーションそらいろ、シンクワズライフオフィス汽車ぽっぽ、放課後デイサービスきりん、ものづくりスペースみんななかま、城陽市立ふたば園、わいわいプラス城陽教室、わいわいプラス寺田教室)
検討課題	○療育部会規約作成について ○今年度実施したいとりにくみについて

【議事録】

1. 自己紹介
2. 療育部会 規約作成について <ul style="list-style-type: none">●副部会長の選出<ul style="list-style-type: none">・ヘルパーステーション そらいろ中野氏 にて決定●意見<ul style="list-style-type: none">・サービス等利用計画の整理の場としては・実態調査から地域課題をあげる場としては・障害児への接し方、啓蒙活動、ネットワークづくりができれば・発達障害児支援、医療的ケアを必要とする子のニーズの把握、必要なサービス課題整理の場必要・療育部会構成メンバーに教育機関を、学校との連携必要・部会長を構成員の互選により定めるとの規定、互選ではない方がいいのでは・構成員とは人なのか、事業所なのか分からない・規約変更時は規定をどう定めるのか <p style="text-align: right;">⇒次回療育部会にて規約案再度検討</p>
3. 今年度実施したい取組について
提案①：昨年度の事例報告について教育機関との勉強会の実施
⇒教育機関にどのように参加を促すかについては次回の療育部会にて検討、それまでに

教育委員会に療育部会参加について打診を実施、教育機関との勉強会を今年度の取組の柱とする

提案②：医療的ケアが必要な子どもへの支援について事例検討

⇒医療的ケアが必要な子どもへの支援を事例検討として予定、また部会で検討したい事例があれば随時取り上げていく

4. その他

●各事業所からの連絡事項

みんななかま：道路拡張工事のため寺田西保育園跡地に引っ越し、6月～11月まで、子ども達に影響が出る可能性もあるが、ご協力願いたい

汽車ぼっぼ：放デイはっぴースマイル開始、また宇治市内にも新設

きりん：3/1きりんくらぶ開設、小4～を対象

城陽市自立支援協議会：市民講座6/13実施、合理的配慮について講演、参加を

発達部会：今年も昨年度と同じく事例検討実施、但し今年は福祉課に情報発信した後、事務局が間に入らず福祉課と事業所で情報整理を行い、教育へ情報提供を行うに変更、連携ルールにのせて相談したいケースがあれば、すてっぷ、山城北保健所、ういるへも相談を

●次回開催 7月14日（木）10:00～福祉センター3階 研修室

以上